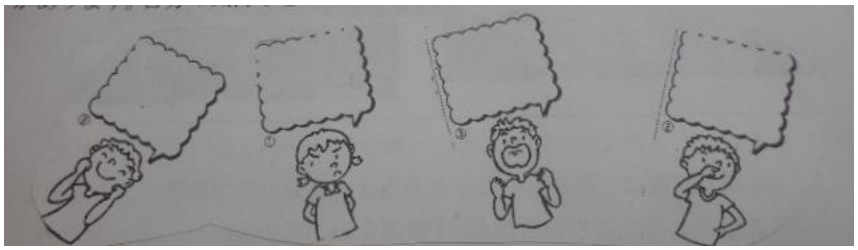
思いやりとありがとうの心で

草津市立草津第二小学校　道徳・人権通信　令和２年１１月１０日　NO.４

☆いま、どんなきもち？☆

10 月のフレンズデーは、いろいろな表情のイラストを見て、「こんな時、わたしは～と感じる」ということを吹き出しの中に言葉で表していきました。人はいろいろな感情を持っています。いろいろな感情をもつことに「いい・わるい」はありません。この活動を通して「自分も周りもいろいろな気持をもつことはあたりまえなんだ」と気が付いてほしいと考えました。「うれしい・かなしい」などの他にもたくさんの気持ちを表す言葉があります。自分の気持ちをそれらの言葉に置きかえて考えたり、話したりできるようになることが大切です。



〈子どもの感想より〉　　（資料　大阪府人権教育研究協議）

〇いろいろな気持ちがあることがわかった。その気持ちをしょうじきに出せばいいとわかった。
〇じぶんの気持ちを大せつにすることがわかりました。
〇じぶんはいま、こんなきぶんだよと人につたえられて、そして、みんなのことも知れてうれしかった。
〇いつもみんな、知らないときにいやな気持ちやうれしい気持ちをしているんだなと思った。
〇ふきだしを書いて、自分がこんな時にこんな気持ちになっていたんだということに気がつきました。
〇人間はいつも楽しんで笑うものと思っていました。この学習でイライラしたり、悲しんだりすることも人生の中であっていいことだと気が付きました。そこで考えることが大事だな。
〇同じ表情でも体験や感情が違うことにおどろきました。とらえかたがちがうのだからしっかりと思っていることをいいたいと思った。
〇じぶんだけ不安だったり、おちこんだりするんだと思っていたけど、みんな不安になることもあるんだと思いました。みんないろいろな感情を持っているのでうまくつきあいたいなと思いました。

☆いじめについて考えました☆

（職員室前掲示板 10 月 4 年生）

〇いじめはわかっていながら人の傷つくことを言ったり、やったりすることです。勇気をもって注意したいです。
〇仲がよすぎておこることがある。いじめにならないように勇気を出して声をかけたい。
〇かげ口からいじめになると思うので、そんな集団を作らないことが大切。自分もまきこまれないようにする。
〇人のことをわらったり、からかったりしていたら「自分もいやでしょ。」といいたい。

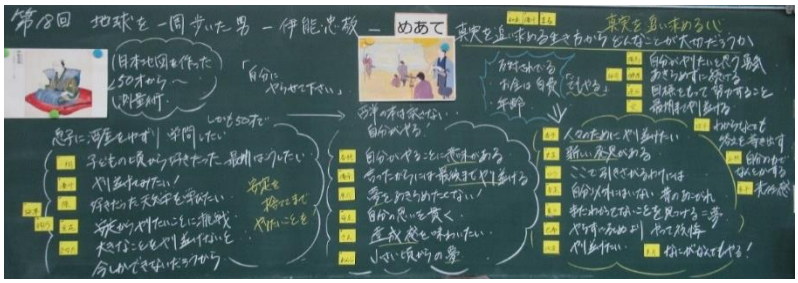
自分の次の行動がいじめを許さない第一歩になり、いじめをしない仲間づくりにつながっていきます。

☆11 月 19 日(木)～27日(金)は校内人権週間です☆

誰もが安心・安全に楽しく生きる権利を持っています。今自分たちにできることは何かを考えて、それを行動につなげられる期間としたいです。子どもたちの人権意識は、私たち周りの大人の影響が大きいです。私たち自身が日頃の心の中の考え方や捉え方を見つめ直し、言葉や行動で示していけるように共に人権意識を高めていきましょう。

道徳の学習から

６年生　「地球を一周歩いた男―伊能忠敬（いのうただたか）―」



伊能忠敬は、子どもの頃から大好きだった天体や地球について学びたいという思いで、五十才で学者に弟子入りしました。そして、「地球の直径はどれくらいなのだろうか。自分の足で地球の大きさを確かめたい。」と思い、自ら行動を起こしました。この物語から、『真実を追い求めるには、どんなことが大切なのだろうか』というめあてを立てて学習を進めていきました。

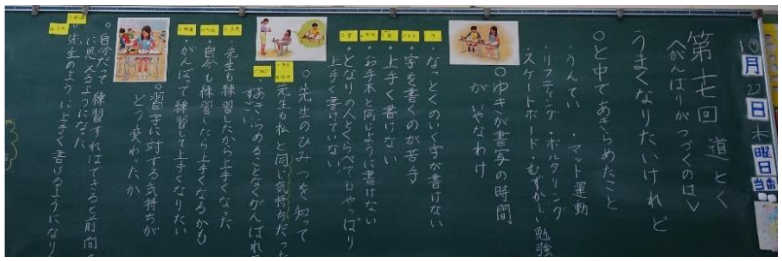
〈子どもたちのふり返り〉

・今は一生かけてやりたいことがないので、何かそういうことを見つけてやりたい。

・夢をもつことはとても大切だと思いました。夢はなんとなく決めるのではなく、しっかり自分と向き合って考えて決め、最後までそれに向かってやり切ることが大切だと思いました。

・何才になっても自分の知りたいことを知りたいと思って行動に移す意欲を持ち続けることが大事だと思います。

３年生　「うまくなりたいけれど」



書写の時間が嫌で仕方なかったゆきさん。ある日の毛筆の時間、字が上手な先生から、ゆきさんと同じように小学校のときは苦手だったけど、一生懸命練習したから上手く書けるようになったことを聞き、自分の字を見ても、嫌な気持ちにならなくなりました。苦手なことでも、努力すれば少しずつ上達することに気づき、何事も最後まで粘り強くやり抜く大切さについて深く考えました。

＜子どもたちのふり返り＞

・一度やめようと思った習い事があるけど、これから楽しいと思えるようにどんどん練習したい。

・あきらめずに最後までがんばれるようになりたい。